



平成 28 年 4 月 28 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ  
代 表 取 締 役 社 長 狩 野 仁 志  
( J A S D A Q ・ コ ー ド 3 8 0 7 )  
問 い 合 わ せ 先 :  
取 締 役 管 理 本 部 長 松 崎 祐 之  
電 話 番 号 0 3 ( 5 7 7 4 ) 2 4 4 0 ( 代 表 )

テックビューロ株式会社との業務提携およびA種優先株式の引き受けに関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、ビットコインなどの暗号通貨を取り扱う為替APIの提供やビットコイン取引所を運営するテックビューロとの業務提携および、テックビューロが第三者割当増資により発行するA種優先株式の一部を引き受けることについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

### 1. 資本参加および業務提携の目的

この度、当社はテックビューロ株式会社\*1（本社：大阪府大阪市西区、代表取締役：朝山 貴生、以下「テックビューロ」）の第三者割当増資を引き受け、テックビューロへの資本参加を伴う業務提携を実施致します。当該提携を行う目的は、当社が目指す仮想通貨経済圏の発展/拡大を早期に実現することにあります。当社は、フィスコ・コインの設立/運営を皮切りに、仮想通貨に関わるあらゆるサービスをB2B/B2C両面においてワンストップで提供する仮想通貨プラットフォームとなることを目指しております。

当社は、これまで培ってきた3,700社の上場企業の顧客基盤を活用し、企業が発行するトークンの受託やビットコイン決済プラットフォームの提供などを、テックビューロと共同して企業向け仮想通貨導入支援サービスを推進していきます。これは、企業活動に仮想通貨を導入する事で企業活動コストを削減しつつ、仮想通貨における財とサービスを飛躍的に増やすことになり、仮想通貨経済圏の拡大に寄与いたします。

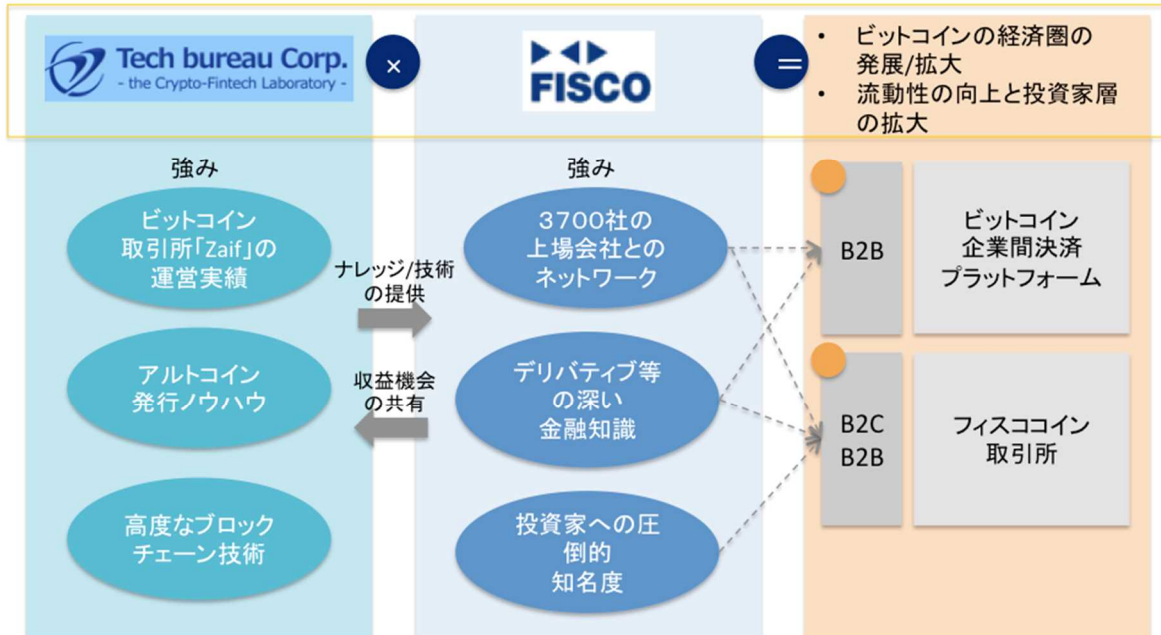
一方、当社は、3月16日付で「ビットコイン取引所の運営事業等を行う株式会社フィスコ・コイン（以下「フィスコ・コイン」）の設立」を発表致しました。フィスコ・コインは、B2Cの売買市場機会の提供だけでなく、フィスコが得意とする法人向けの仮想通貨投資やリスクヘッジ取引を行う取引所を目指しています。

本提携により、テックビューロが手掛ける仮想通貨取引所「Zaif」\*2のシステム基盤を当社が提供を受けることにより、当社における取引所システムの基礎構築が省略化できることとなり、迅速に当社の仮想通貨取引所システムを立ち上げ/サービス提供を開始することが可能となりました。テックビューロの豊富なビジネス経験を反映した既存のシステム基盤を活用しつつ、フィスコの投資家への圧倒的な知名度とネットワークを活用することで、競争優位のある取引所の運営を早期に実現いたします。

また、あらゆる顧客の要望に答えるべく、様々な仮想通貨金融商品の開発を計画しております。具体的には、仮想通貨におけるデリバティブの開発と商品化、それらの取引市場の整備などを推

進して参ります。これは、B2Cの市場活性化だけでなく、B2B市場におけるヘッジや投資機会の提供（具体的には、先述したビットコイン決済プラットフォームに参加する企業へのヘッジサービスや仮想通貨投資ファンドへの商品提供などを想定）を行い、仮想通貨の流動性と安定性に寄与するつもりです。

**テックビューロとフィスコの各々の強みを合わせて、ビットコイン経済圏の発展/拡大に寄与することを目指し、テックビューロとの資本・業務提携を実施**



\*1 テックビューロは、日本とシリコンバレーのテクノロジービジネスの経験者を数多く擁し、暗号通貨やブロックチェーン技術に基づいたソフトウェア/サービス開発をするクリプト・フィンテック・ラボ (Crypto-Fintech Lab.) です。ビットコインを含む暗号通貨の為替取引プラットフォーム「Zaif」やプライベート・ブロックチェーン基盤ソフトウェア「mijin」の他、ブロックチェーン技術導入の受託開発やコンサルティングサービスを提供しています。

\*2 「Zaif」は、2016年4月6日付けで24時間あたりの出来高が45,000BTCを記録し、その取引高が円建てで国内シェア64.78% (20億円以上) となり、現物を取扱うビットコイン取引所としては日本初となる1日あたり取扱高20億円を上回りました。世界市場においても、中国の大手4社に次いで出来高5位に位置しており、同市場において既に一定のプレゼンスを保持しています。

**2. 業務提携の内容**

- (1) 株式会社フィスコ・コインにおいて、Zaif ベースのビットコイン取引所の開設及び運営
- (2) ビットコインの業界環境の調査
- (3) ビットコイン事業全般のコンサルティング

**3. 第三者割当増資の概要**

当社は、テックビューロが実施する第三者割当増資 (A種優先株式1,487株) のうち、A種優先株式333株を1株当たり450千円、総額149,850千円で引き受けます。なお、当該A種優先株式1株は、いつでも普通株式1株に転換することができます。

4. 資本参加および業務提携の相手先の概要（平成28年4月28日現在）

(1) 商号	テックビューロ株式会社		
(2) 本店所在地	大阪府大阪市西区西本町一丁目4番1号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 朝山 貴生		
(4) 事業内容	ビットコインなどの暗号通貨を取り扱う為替APIの提供およびビットコイン取引所の運営等		
(5) 資本金の額	61,032千円		
(6) 設立年月日	平成26年6月16日		
(7) 大株主および持株比率	朝山 貴生 76.5%、日本テクノロジーベンチャーパートナーズCC投資事業組合 16.5%、朝山 道央 4.1%		
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9) 最近3年間の経営成績および財政状態 <sup>※1</sup> （単位：千円）			
	平成27年5月期		
純資産	94,553		
総資産	293,152		
1株当たり純資産（円） <sup>※2</sup>	15,561		
売上高	209		
営業利益	△15,961		
経常利益	△16,092		
親会社株主に帰属する当期純利益	△16,478		
1株当たり当期純利益（円） <sup>※2</sup>	△2,712		
1株当たり配当金（円）	—		

※1 平成26年6月設立のため、平成27年5月期の1期分を記載しております。

※2 上記決算期末における発行済み株式数は6,076株となっております。

5. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	0株（議決権の数：0個 所有割合0%）
取得株式数	333株（議決権の数333個）
取得価額の総額	149,850千円
異動後の所有株式数	333株（議決権の数：333個 普通株式及びA種優先株式の合計の所有割合4.40%）

6. 日程

取締役会決議 平成28年4月28日  
 資本業務提携契約 平成28年4月28日  
 第三者割当増資払込 平成28年5月31日（予定）

7. 今後の見通し

本件による当社の連結業績に与える影響は軽微であり、当社の連結業績に影響を与える見込みが生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上